



## 今年も 8 月 31 日の綾瀬市の防災訓練に参加 大上地区社協は、要援護登録者の安否確認を担当

綾瀬市は8月31日(日)に、今年も“相模トラフを震源域とする震度6強の地震発生”という想定で、防災訓練を実施しました。

この防災訓練は市と大上自治会が一体となって実施したもので、大上地区社協も昨年に引続いて自治会の要請を受け、要援護登録者の安否確認を担当する形で積極的に参加しました。

当日は、午前8時30分に防災無線で「訓練地震発生」という放送を受け、地区社協の会員は、まず自分と家族の安全を確認した後、それぞれの会員が担当する要援護登録者宅を1軒1軒訪ねて安否を確認した上で、所属区の理事へ結果を報告。理事は区内をまとめ、所属する区の防災長(区長)へ報告し、防災長から大上自治会館に設営されている大上対策本部へ無線で報告が行き、午前9時45分には地区社協が担当する一連の訓練は終わりました。

今回の訓練では、要援護登録者230名のうちの施設入所や入院中の15名を除いた確認対象者215名に対して、安否確認できたのは192名でした。市ノ澤会長は『理事および会員の皆さんの協力のお陰で大変良い結果となりました。日頃の地道な活動のお陰です。皆さん、ご苦労様でした。これからも困った時はお互い様の精神で活動して行きたい。』と語っていました。



要援護者宅を訪ねて安否確認する会員

## 大上地区青少年健全育成会の

### 夏休みの行事に協力

大上地区社協からも役員に就いている大上地区青少年健全育成会(細田順一会長)は、今年も8月6日(水)に“夏休み・親子ふれあいダンボールで隠れ家を作ろう・映画会”を、大上自治会館で催しました。

当日は、子ども達93名、保護者25名、スタッフには大上地区社協の市ノ澤会長以下役員6名も加わった28名の合計146名が参加して午前9時30分から、子ども達と保護者が5班に分かれ、猛暑の中を会館前の駐車場で段ボールを使って隠れ家作りを楽しんだ。そして会館内で映画を観た後、自分たちで作った段ボールの家の中でスタッフが準備した昼食のソーメンを食べ、そして流しソーメンで風流を味わい、夏休みのひと時を楽しんでいました。



みんなで協力して段ボールで隠れ家作り

## 北の台中学校 PTA の

### 夜間パトロールにも協力

北の台中学校PTA(大田伸一郎会長)は、例年夏に校区内の大上、蓼川、寺尾中地区において防犯対策と子ども達の安全な環境を確保するために夜間パトロールを実施しているが、今夏も大上地区社協と大上・蓼川・寺尾綾北の青少年健全育成会の協力を得て、8月18日(月)の午後7時30分から約1時間にわたってパトロールを実施しました。

当日は、校区内を4つの班に分かれて実施。大上地区は2つの班で、第1班はクリエイト前から、第2班は北の台中学校裏門からのコースで巡回。各班には先生とPTA役員を中心に、協力団体のメンバーが加わった10~12名の編成で、コース内の要所をチェックしながら巡回し、異常のない事を確認していました。大上地区社協からは、市ノ澤会長以下8名が参加しました。



校区内をパトロールする皆さん